

# 令和2年度 自己評価結果公表シート

茨木みのり幼稚園

## 1. 教育理念

- ・人と人がかかわって豊かな遊びが発展していく環境を作る。
- ・子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践

## 2. 教育目標

- ・ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。
- ・基本的な生活習慣、態度を育て健康で丈夫な身体をつくります。
- ・自分で考えて行動できる力を養います。
- ・人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
- ・さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

## 3. 教育方針

- ・子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
- ・ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
- ・様々な人や物も出来事と出会い、興味や関心を大切に、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

## 4. 本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・10の姿をより深く学びあう
- ・自然物を取り入れた環境構成
- ・安全・設備

## 5. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
10の姿をより深く学びあう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に10の姿を通した子どもの育ちを発信する。</li> <li>・10の姿を意識した保育を考える。</li> </ul>
自然物を取り入れた環境構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季折々の樹木や草花を環境構成として保育室に自然物を持ち込む。</li> <li>・樹木、草花の名前を図鑑で調べたりする。</li> <li>・五感を使って自然物を、見たり、触れたり、匂ったり、聞いたり、味わう。</li> <li>・植物を使った遊びを考える。</li> <li>・四季折々の生き物の姿に興味関心を持つ。</li> <li>・しぜん・どうぶつだよりを発行する。</li> </ul>
新型コロナウイルス感染予防対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎換気、マスクの着用、手洗い、手指消毒、毎朝門で体温チェック表を確認する。保護者の立ち入りを制限する。保護者も来園の際は検温する。パーテーションを用いて食事の際の飛沫を防ぐ。ソーシャルディスタンスが保てるよう、座る位置や並ぶ場所にマークを付ける。手洗い場、トイレの場所を空けるようマークをするなど使用箇所を制限する。椅子、机、玩具、扉など子どもが触れる箇所の消毒。</li> </ul>
安全・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎衛生管理を習慣づける。</li> <li>◎熱中症対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭にテントを設営し日陰を作る。</li> </ul> </li> <li>◎子どもたちが安全に過ごせるように園庭、園内の整備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者の侵入を防ぐ為、男性園務員により周囲の見回りを強化。</li> <li>・遊具、園庭、園舎内の安全点検を学期ごとに行う。不備があればすぐに検討する。</li> </ul> </li> <li>・防災訓練、防犯訓練の全園児での取り組みは密なので、各クラスでシミュレーション、年長のみ実際に避難するなどの方法で取り組む。</li> </ul>

## 6. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・イラスト化した10の姿が活用できず、深い学びに繋がらなかった。
- ・保護者への発信の仕方が視覚的に伝えられなかった。
- ・コロナで自然物を自由に味わうことが難しかったが、給食に取り入れてもらうことで味わうことができた。
- ・コロナで生活様式が変化し、健康を考えた保育をすすめ、課題を縮小した内容でも見栄え等例年と大差なく工夫し取り組んだ。
- ・プールは中止した。
- ・園庭のテントは暑さを凌ぐ避難場所となり有効だった。
- ・園庭の遊具が劣化してきている為、取り換えを検討する。
- ・密を避けた為、避難訓練、保護者の引き渡し訓練など十分な取り組みができていない。

## 7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
10の姿をより深く学びあう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト化したものを活用し、より理解を深める。</li> <li>・保護者に10の姿を通した子どもの育ちを発信する。</li> </ul>
新たな生活様式での保育の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保育者の健康を考えた保育の進め方を考える。</li> <li>・行事の取り組み方、又保護者への伝え方を見直す。</li> <li>・ソーシャルディスタンスを取りながら人とのかかわり方、ふれあい方を工夫する。</li> <li>・保育者間でも変更したことに対し計画、準備、確認、連携など、コミュニケーションをしっかりと取りながら進める。</li> </ul>
安全・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新型コロナウイルス感染情報の変化に対応し、園内でできる対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気、マスクの着用、手洗い、手指消毒用、体温チェック、玩具消毒など</li> </ul> </li> <li>◎熱中症対策を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テントの活用をする。</li> </ul> </li> <li>◎子どもたちが安全に過ごせるように園庭、園内の整備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具、園庭、園舎内の安全点検を学期ごとに行う。</li> <li>・遊具の入れ替えを検討する。</li> <li>・防災訓練、防犯訓練を継続する。</li> </ul> </li> </ul>

## 8. 学校関係者評価委員会の意見

- ・身近な教材を活用しながら楽しい雰囲気保育できている。
- ・ノーマスクの園もある中、コロナ感染対策は申し分ない。できないを優先するのではなく、どうすればできるのかを念頭においた取り組みがされていた。コロナ禍でも楽しめる機会が設けられていた。
- ・自然物とのかかわりはいろんなところに目を向けられ、ひとつひとつ取り組みには時間がかかるが丁寧に取り組まれている。
- ・人とのかかわりを通し、心身ともに育まれると思うが、コロナ禍でどうかかわっていくかが課題である。
- ・保護者への保育理解、子ども理解を深めるには個人懇談など話し合いの場を十分に取ったり、いろいろな姿を写真にコメントを添えるなどしてもっと伝えていってはどうか。

## 9. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。